



# India Weekly

2019年6月24日



(対象期間：2019/6/17～2019/6/21)

## 【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2019年6月21日)



## 【株式市場】

インドが米国からの一部輸入品への関税を16日に引き上げたことを嫌気して、週初の株式市場は下落しました。20日には、米連邦公開市場委員会(FOMC)後の声明文で近く利下げに転じる可能性が示唆されたことが好感され、大きく上昇しました。しかし、21日に原油価格の上昇や米中貿易摩擦を巡る懸念などを背景に反落し、週間でも下落となりました。

2019/6/14	2019/6/21	変化率
39,452.07	39,194.49	-0.65%

## 【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年6月21日)



## 【債券市場】

18日、インド準備銀行（中央銀行、RBI）の一部剰余金の政府への納付を、専門委員会が提言する可能性があることが報じられました。これを受けて、財政赤字が緩和するとの思惑から、10年国債利回りは低下（価格は上昇）となりました。その後は原油価格の上昇が重石となり利回りが上昇する場面もありましたが、週間では低下となりました。

2019/6/14	2019/6/21	変化幅
6.919	6.858	-0.061

## 【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年6月21日)



## 【為替市場】

FOMC後の声明文で近く利下げに転じる可能性が示唆されたことから米ドルが弱含み、ルピー-高米ドル安となりました。一方、円も対米ドルで上昇し、円の上昇が大きかったことから、ルピーは対円では下落となりました。

2019/6/14	2019/6/21	変化率
1.551	1.546	-0.31%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



英国プルデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。